期待できる効果

対象児童生徒の変化

〇通級で学んだことを通常学級でいかそうとする姿が見られた。
〇気持ちをコントロールできるようになってきた。
〇通常学級で落ち着いて参加したり、発表したりする意欲が見られるようになった。
〇友だちとの関りが増えて、集団での生活がスムーズになってきた。
〇学校行事への参加の仕方を選択し、参加できる時間が増えた。等

対象児童生徒の保護者

〇表情が明るくなった。通級指導教室で、話をたくさん聞いてもらって安心の場になったようだ。
〇得意のことにさらに自信をつけたことで、苦手なことにも挑戦するようになった。
〇勉強に対して前向きになった。褒められる場面が増えてやる気が出た。
〇家族との会話が増えた。等

通級指導に関するQ&A

どのような児童生徒が対象？

本人・保護者の希望や、学校生活での実態把握を通して、通級の対象になるかを判断します。通級による指導は、言語障がい、自閉症、情緒障がい、弱視、難聴、LD、ADHD,肢体不自由、病弱及び身体虚弱、不登校、困り感のある児童生徒のうち、通常学級におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度の児童生徒を対象に行います。

教科の内容を個別に指導してもらえる？

「通級」は、各教科の遅れを補充するものではありません。ただし、通級を効果的に進めるために、特に必要があるときは、教科の内容を取り扱いながら行うことがあります。

どの時間帯に実施するの？

通常の学級における教科等の授業時間の一部を充てて実施します。学級では、特定の教科の学習が遅れが生じないよう、実施する時数を最小限にするほかに、指導を受ける時間の選び方や家庭学習の内容等の工夫がひつようになります。児童生徒の「困難さ」が改善・克服されれば、指導の終了となるります。

まずは担任にご相談下さい

問い合わせ（教頭）

e-mail：kyoutou@tjs.tp.edu.tw

TEL: ＋886-2-2872-3801(　職員室１０５　)

台北日本人学校

通級による指導教室

こんな自分になりたい！

台北日本人学校
通級指導教室のご案内

通級による指導って？

通常の学級に在籍している障がいのある児童生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障がいに応じた特別の指導（自立活動）を、特別な指導の場（通級指導教室）で受ける指導形態です。

通級の利用決定から終了までの流れ

入級希望
〇担任に申し出ます。

面談
〇児童生徒の学校生活や学習状況について話し合い、入級についての相談を行います。

困り感の把握
アセスメント
〇学校生活を中心に得意なこと、苦手なこと等を確認します。
〇必要に応じて前籍校と連携します。

入級判断
〇通級で困り感の改善に向けて取り組める見通しが立てば「入級」が決まります。

個別の指導計画作成
〇通級を通して「なりたい自分」に近づくために、目標を設定していきます。

通級の利用
〇通級を利用する中で、成長したこと、気づいたことを共有しながら必要があれば、目標や学習内容を見直していきます。

評価懇談
〇個別の指導計画の目標が達成できたか確認を行います。

通級指導の時間や期間

・週１、２時間～月2回程度

（週に何時間、どの場面で指導を受けるかは、児童生徒の状態に応じて決定します）

・個別指導やグループ指導

・原則１年間（前期～・後期～）
　目標達成状況により指導期間を１年間延長も可能

学習内容

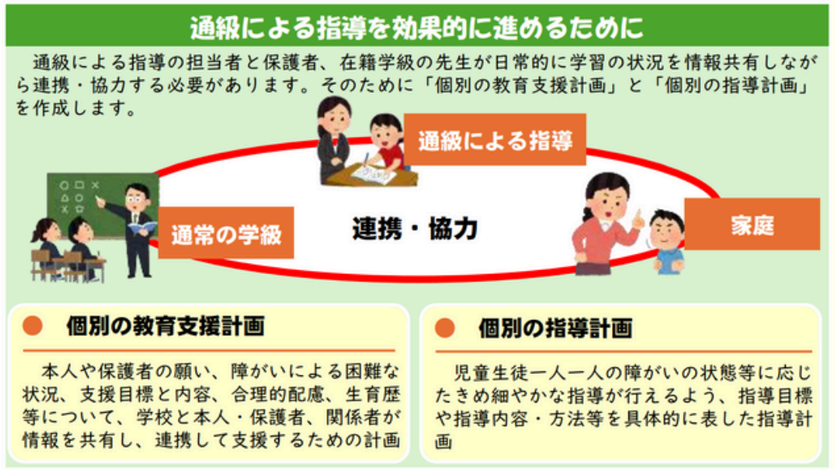
「通級による指導」では「自立活動」に相当する指導を行います。
＊教科学習の補習や在籍学級での遅れを取り戻すための学習指導は行いません。

自立活動とは

障がいのある児童生徒が自立した生活を送るために、学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な知識や技能、態度や習慣を身に付けるための指導を行います。下記のような具体的な目標や内容を決めます。

・気持ちの伝え方を学ぶ。
・持ち物の管理・整理整頓スキルを身に付ける。
・他者とのコミュニケーションの取り方やトラブルの対処法について学ぶ。
・感情が抑えられないタイミングを知り気持ちをコントロールするための具体的な方法を身に付ける。
・自分の見え方、聞こえ方などに合った効果的な学習の仕方を知る。

通級による指導を効果的に進めるために



・担当者や担任と保護者が、定期的な情報交換を行い、連携して支援します。
・最終的には、全ての学習を通常の学級で行うことができるように、各場面に応じた適切な支援を、校内で組織的に行います。